

第 1 1 回朝日新聞杯 3 年生サッカー大会

大会規定

(財)日本サッカー協会「8人制サッカールールと審判法(2012年3月27日第2刷発行)」を基本とし、ここに規定されていない事項については(財)日本サッカー協会発行の(最新版)サッカー競技規則(2015/2016年度競技規則)を準用する。またこれらに優先して、本大会の「大会規則」を以下の通り定める。

- 川崎市サッカー協会に登録したチーム及び選手。
- 同一チームから2チームまでのエントリーが出来るものとする。
2チームエントリーを希望する場合は、以下の条件を満たした場合に認めるものとする。
 - 小学校3年生が17名以上いる事。
 - 上記(1)の場合、2チーム編成とする事が出来るが、その際に2年生、1年生を含めることも出来る。
 - その2チームは、別々のユニフォームを用意する。(ビブス不可)
 - ユニフォームは、正・副2着用意する。
 - その2チームは、監督、コーチ、帯同審判員を必ず別々の方々とする。
 - 大会参加料は、参加チーム数分納付すること。
 - その2チーム間での選手の貸し借り・入替などは、大会期間中は絶対に行ってはならない。
 - 合同チームを編成して、この2チームエントリーの条件を満たすことは認めない。
- ピッチサイズ：縦60m×横40mを基本とする。(会場によって若干の差異は認める)
センターサークル半径：7m ペナルティーの縦：12m ゴールエリアの縦：4m
ペナルティーマーク：8m コーナーアークの半径：1m
ゴールの大きさ：5m×2.15m(少年用サッカーゴールとする)
- ボール：少年用4号球
- 取替式スタッドのシューズは禁止する。それ以外は、各試合会場の指示に従うものとする。
- 各試合における選手登録人数は30名以下(第4種登録の選手、女子の参加も可)とする。
交代要員の人数制限は設けない。
- 交代は、ボールがインプレー中、アウトオブプレー中にかかわらず行うことができる。
- 交代して退く競技者は、交代ゾーンからフィールドの外に出る。
ただし、交代で退く競技者が負傷している場合は、主審の承認を得た上でどこからフィールドを離れてもよい。
- 交代要員は、交代ゾーンからフィールドに入り、競技者となる。
- ゴールキーパーは、事前に主審に通知した上で、試合の停止中に交代することができる。

11. 試合時間は前後半各 15 分、前後半のインターバルは 5 分とする。
12. 反則と不正行為は 11 人制サッカーに準ずるが、退場者が出た場合には選手を補充することができる。
主審は、競技者が補充されようとしている間は試合を停止する。
警告・退場は当該試合にのみ適用することとし、次の試合への累積はしない。
13. キックオフからの直接ゴールインは、得点と認めず、相手チームのゴールキックから再開する。
14. フリーキック時、相手競技者は 7 m 以上離れる。
15. コーナーキック時、ボールがインプレーになるまで相手競技者は 7 m 以上離れる。
16. リーグ戦の順位は勝点の多いチームを上位とする。(勝点は、勝ち：3、引き分け：1、負け：0)
※勝点と同じ場合は、得失点差、総得点、当該チームの対戦成績、抽選で順位を決定する。
17. 試合開始前に一方のチームが 6 人未満となった場合、もしくは試合開始時間に遅れた場合、そのチームは不戦敗とし、対戦成績は「0-5」とする。試合開始後に一方のチームが 6 人未満となった場合、別途「第 4 種委員会役員会」において協議するものとする。
試合開始時 6 名に満たない場合は棄権とみなし、不戦敗の扱いとする。
18. 審判は、11 人制サッカーと同様に 3 名（主審 1 名、副審 2 名）ないし 4 名（左記、審判員に 1 名プラスして予備審判 1 名）で行う。
各チーム 2 人の 2015 年度審判有資格者が帯同出来る事。(必須条件)
19. 交代時の交代表の提出は不要とする。但し、川崎市サッカー協会第 4 種委員会(以下、当協会)推奨のメンバー表(当協会のホームページにアップされている EXCEL 形式のメンバー表)を使用し、試合開始 10 分前までに本部へ毎試合毎に提出すること。

以上